News Release

株式会社インターネットインフィニティー
（コード番号：6545 東証マザーズ）
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー4 階
https://iif.jp

2020 年 10 月 20 日

痙縮治療を知るケアマネジャーなら、患者の半数に治療を勧める
～ただし、その認知率は 5 割にとどまる～

―ケアマネジャーをパネルにした要介護高齢者の医薬品独自調査『CMNR メディカル』第 17 回―

全国のケアマネジャー9 万人が登録するウェブサイト「ケアマネジメント・オンライン」（https://www.caremanagement.jp/）、全国にリハビリ型デイサービス「レコードブック」（https://www.recordbook.jp/）を展開するなど、健康寿命の延伸に向け、様々なヘルスケアサービスを運営する株式会社インターネットインフィニティー（本社：東京都品川区、代表取締役社長：別宮 圭一）は、ケアマネジャーをパネルにした要介護高齢者の医薬品独自調査サービス『CMNR メディカル』にて痙縮に関するアンケートを実施しました。

■調査概要

調査名：CMNR メディカル（第 17 回）「痙縮に関するアンケート」
期間：2020 年 10 月 2 日～2020 年 10 月 7 日
調査パネル：「ケアマネジメント・オンライン」に登録する会員ケアマネジャー（居宅介護支援事業所、地域包括支援センターに勤務）
調査サンプル数：509 名
調査方法：WEB アンケート

■調査結果（サマリー）

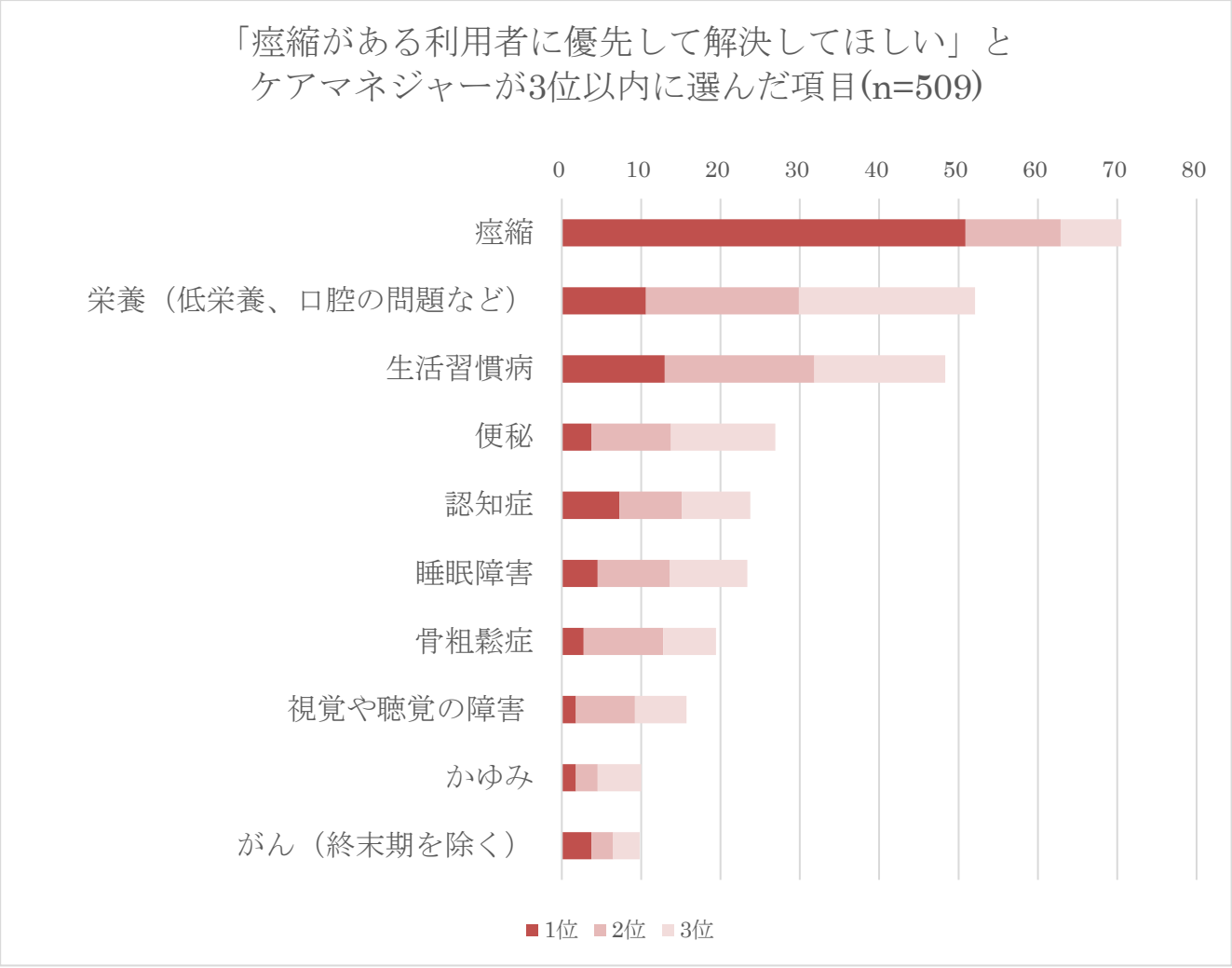
要介護者の介護が必要になる原因として、認知症に次いで 2 番目に多い疾患が脳血管疾患（脳卒中）です。脳卒中でよくみられる「痙縮」は、要介護高齢者にとって日常生活動作を低下させるだけでなく、リハビリの妨げや、介護負担を増やしてしまう原因の一つになります。

本調査では、全国のケアマネジャーを対象に、痙縮治療についての認識や、痙縮がある要介護高齢者への働きかけに関するアンケートを実施しました。
その結果、「痙縮は病院で治療できる」と知っているケアマネジャーであれば、痙縮患者の半数に治療を勧めていることが明らかになりました。しかし、病院で治療できることを知っているケアマネジャーは 5 割にとどまっていました。また、自信をもって治療を勧めるためには知識が不足していると感じているケアマネジャーが多いことが分かりました。
このことから、痙縮やその治療に関する知識を啓発すれば、ケアマネジャーの勧めから医療機関を受診する痙縮患者が増えると考えられます。

また、多くのケアマネジャーが、利用者の痙縮治療後の変化として、単なる動作の改善だけでなく、気持ちの面での改善を実感しており、その先にある利用者の生活の充実を重要視していることが分かりました。痙縮患者がより自分らしい生活を送るためには、医療と介護のきめ細かい連携が必要です。その連携の要であるケアマネジャーに向けた、痙縮医療に関する情報発信が求められています。

■調査結果

Q：痙縮がある利用者の生活を支えるにあたって、優先して解決すべき項目は何だと思いますか？
※優先度の高い順にすべて（1～10 位まで）並べ替えてください。

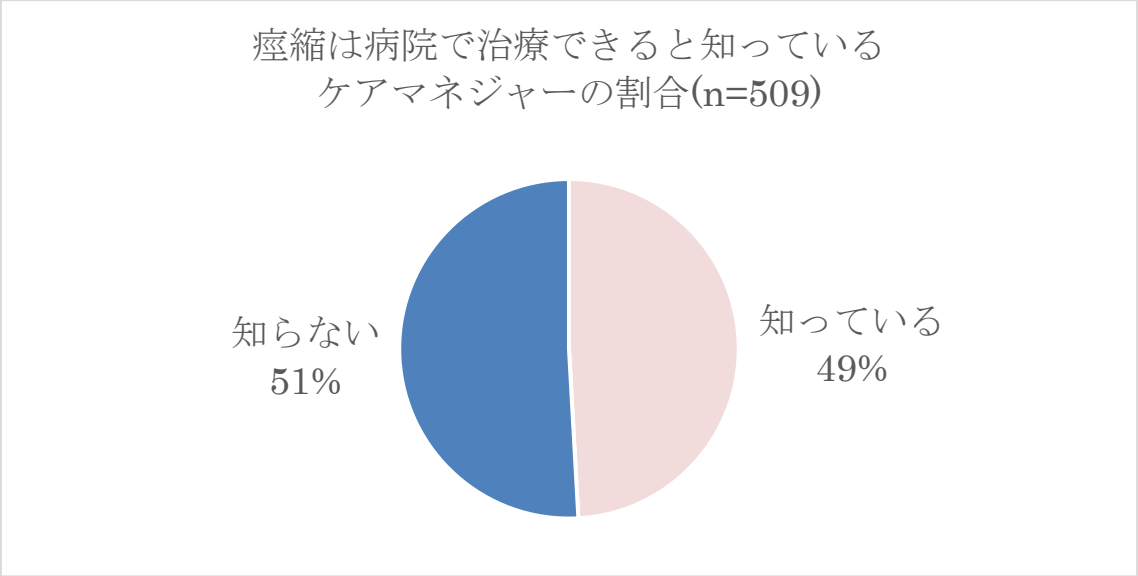


ケアマネジャーに、痙縮のある利用者にとって優先して解決すべき項目は何だと思うか尋ねたところ、回答者の約 7 割が、「痙縮」を 3 位以内に選択しました。

また、8 割以上のケアマネジャーが、痙縮を治療することができれば「本人の気持ちが前向きになると思う（84.7%）」「ADL が向上すると思う（80.2%）」「リハビリが行いやすくなると思う（84.7%）」「介護の負担が軽くなると思う（83.3%）」と回答していました。

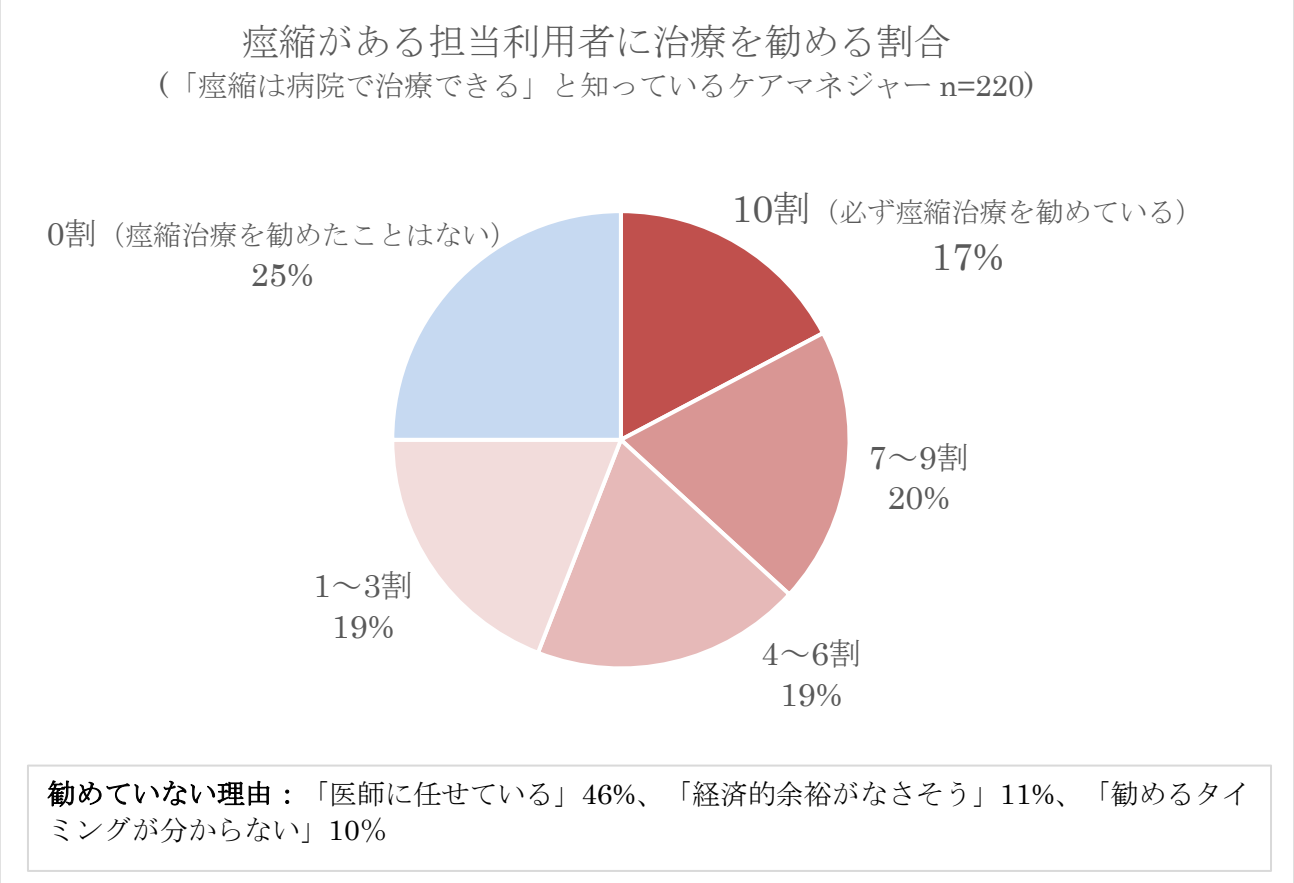
このことから、多くのケアマネジャーが、利用者の生活を支えるために痙縮を解決したいと感じており、症状が改善すれば利用者にとってはもちろん、介護者にも良い影響をもたらすと考えていることが分かりました。

Q：痙縮は病院で治療できることを知っていますか？



しかし、ケアマネジャーの約半数は病院で痙縮が治療できることを知らないのが現状のようです。

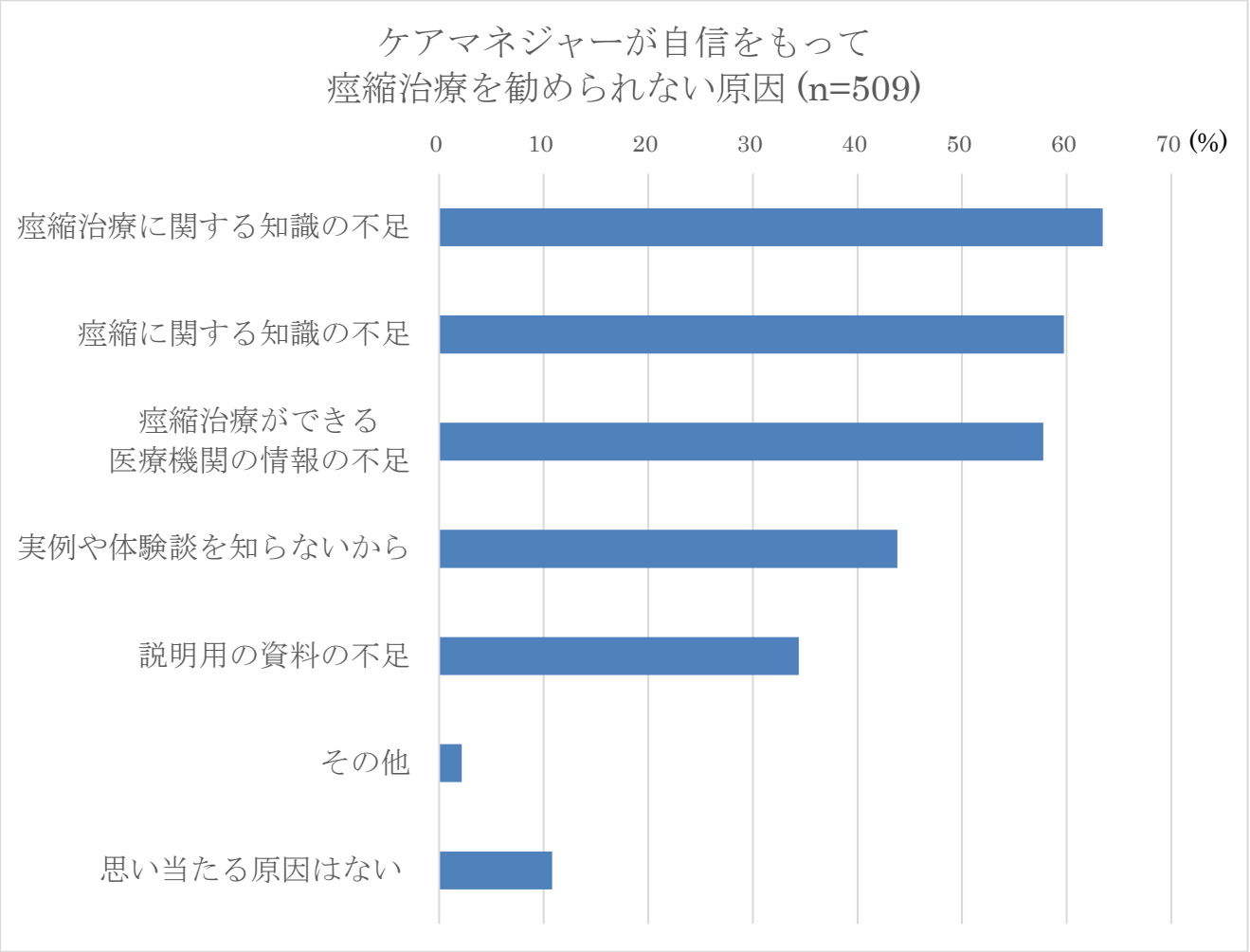
Q：痙縮がある利用者のうち、何割に痙縮治療を勧めていますか？



勧めていない理由：「医師に任せている」46%、「経済的余裕がなさそう」11%、「勧めるタイミングが分からない」10%

一方で、「痙縮は病院で治療できる」と知っているケアマネジャーは、痙縮のある利用者の多くに治療を勧めていることが明らかになりました。実際に、痙縮がある担当利用者すべてに治療を勧めている（10 割）と回答したケアマネジャーは 17%でした。平均すると、治療を勧められている利用者の割合は 45.5%でした。

Q：自信をもって痙縮治療を勧められないのは何が原因だと思いますか？



自信をもって痙縮治療を勧められない理由は何だと思うか尋ねたところ、最も回答が多かったのは「痙縮治療に関する知識の不足（63.5%）」、次いで「痙縮に関する知識の不足（59.7%）」、「痙縮治療ができる医療機関の情報の不足（57.8%）」となりました。

痙縮という疾患そのものや治療に関する知識を啓発することで、自信をもって利用者に治療を勧めるケアマネジャーが増え、要介護高齢者が痙縮治療を始めるきっかけを増やすことができると考えられます。

また、ボツリヌス治療についての知識を問うた質問では、ケアマネジャーの約 6 割が「治療は継続的に行う必要はない」と、誤った認識を持っていることが分かりました。

その中には、痙縮治療を受けた利用者の事例として、
「すぐ元に戻り、効果が実感できていない」
「その内効果がなくなるので、落胆と諦めの気持ちが見られる」
「治療後はいいが効果が継続せず、そのまま治療を中止してしまった」
を挙げたケアマネジャーもいました。

このような事例では、痙縮治療に関する正しい知識を持ったケアマネジャーであれば、医療機関の受診を促して治療が継続されていたかもしれません。

一方で、治療後の良い変化としては、
「前向きな気持ちで生活をしている」
「リハビリへの意欲が向上した」
など、気持ちの面の改善についてのコメントが多く挙げられていました。

このことから、ケアマネジャーが、単なる症状の改善だけでなく、その先にある利用者の生活の充実に重きを置いて、治療の効果を評価していることが分かります。

痙縮のある利用者がより自分らしい生活を実現するためには、医療と介護の連携が欠かせません。連携の要であるケアマネジャーに対して、痙縮とその治療などに関する正しい情報を発信していくことが求められています。

※具体的な項目や結果は調査レポートに記載しています。

■調査レポート販売のご案内

本調査結果を、詳細レポートとして 10 月 20 日より販売いたします。
上記掲載以外にも、
・ケアマネジャーの勧めから、実際に医療機関を受診した利用者の割合
・ケアマネジャーが痙縮治療を勧めたいと思う状況
・担当利用者に占める痙縮患者の割合
・担当する痙縮患者のうち、リハビリをしている利用者の割合
・ケアマネジャーにおける、ボツリヌス治療についての理解度
等の内容が、収載されています。

■高齢者向け医薬品のマーケティングご担当者様へのご案内

ケアマネジメント・オンラインでは、11 月に創刊予定のメールマガジン「医介マーケティング通信」（無料）の購読申し込みを受け付け中です。

「医介マーケティング通信」では、
・自主調査結果の詳細
・医療介護連携に関わる情報
・地域医療に関わる医療・介護従事者向けマーケティングの手法
についての情報を発信してまいります。

＜メルマガ購読者の特典＞
本プレスリリース未掲載データのご紹介

＜購読申し込み方法＞
件名に「医介マーケティング通信購読希望」

本文に、
・登録メールアドレス
・氏名
・会社名
・部署名
・担当製品の疾患領域
・購読特典「CMNR2010-A」

をご記載の上
ikaimarketing@caremanagement.jp までメールをお送りください。

個人情報の取り扱いについて
https://iif.jp/privacy.html

■ケアマネジャーへの情報提供（PR）のサポート

弊社では、全国のケアマネジャー9 万人が登録するウェブサイト「ケアマネジメント・オンライン」を運営しています。これを活用して、ケアマネジャーを対象とした情報発信のサポートを承っております。また、郵送・FAX などを用いた情報発信や、調査パネルを用いた効果測定も行うことが可能です。これまでに、製薬会社をはじめ各種企業に情報発信の場としてご利用いただいております。

調査レポートやケアマネジャーへの PR の詳細、価格につきましては、下記窓口までお問い合わせください。

■お問い合わせ窓口■
株式会社インターネットインフィニティー　Web ソリューション部（担当：酒井）
TEL:03-6697-5505　FAX:03-6779-5055　MAIL: ssakai@iif.jp

■CMNR メディカルについて■
『CMNR（CareManager Network Research）メディカル』は、医療と介護連携のキーマンであるケアマネジャーをパネルとした調査サービスです。複数の医療機関を受診することが多い要介護・要支援高齢患者の処方薬や、服薬管理状況など、医師や薬剤師をパネルとした調査ではなかなか把握しにくい医薬品使用の実態を調査できます。
専門サイト「ケアマネジメント・オンライン」に登録する、日本のケアマネジャー20 万人のうち 5 割に相当する 9 万人のネットワークを『CMNR メディカル』では活用しています。
※ケアマネジャー（介護支援専門員）は、適切な介護サービスを受けられるように高齢者とその家族の支援をしており、医療と介護の連携の要を担っています。

■調査のご依頼について■
「ケアマネジメント・オンライン」では、『CMNR メディカル』をはじめ、ケアマネジャーを対象にした様々な調査を常時行い、企業やメディア、行政などにお届けしています。今後調査を実施してほしい疾患や医薬品のリクエスト等ございましたら、下記窓口までお気軽にお問い合わせください。

■記事引用時のお願い■

・「ケアマネジメント・オンライン」調べ、と明記ください。

・WEB 上での引用に際しましては、「ケアマネジメント・オンライン」に https://www.caremanagement.jp/へのリンク付与をお願いいたします。

■ ■ ■ニュースリリース及びサービスに関するお問合せ先■ ■ ■

株式会社インターネットインフィニティー　Web ソリューション部（担当：酒井）

TEL:03-6697-5505　FAX:03-6779-5055　MAIL: ssakai@iif.jp

■ ■ ■その他 IR に関するお問合せ先■ ■ ■

株式会社インターネットインフィニティー　IR 担当

TEL:03-6779-4777　MAIL: ir@iif.jp